

「JR九州×九州産業大学」共同プロジェクト

あるある看板&こどもアナウンスによるホーム混雑緩和対策

JR九州と九州産業大学は産学連携の共同プロジェクトとして、JR鹿児島本線九産大前駅のホーム滞留緩和と安全意識向上を目的に、学生目線のご当地ネタを盛り込んだ「あるある看板」と、園児の声で注意喚起を行う「こどもアナウンス」の運用を2026年4月より開始しました。命令や警告ではなく“思わず耳を傾け、足を動かしたくなる”仕掛けで安全行動を自然に促す点が特徴です。クスッと笑える「あるある看板」と、かわいらしい「こどもアナウンス」に会いに、ぜひ九産大前駅にお越しください。

記

1 あるある看板展示

- (1) 展示場所 JR九州鹿児島本線 九産大前駅（1，2番のりば）
- (2) 展示期間 2026年4月1日～当分の間（予告なく撤去する場合があります）
- (3) 実施内容 九州産業大学の学生等の利用が多い九産大前駅で、学生の共感を呼ぶ「あるあるネタ」を活用した掲示物を設置し、「奥、空いてるよ」などの吹き出し型案内や、「快速の通る風で前髪崩れがち」といった共感型メッセージにより、自然にホーム奥への誘導を図ります。



2 こどもアナウンス（ホーム放送）

- (1) 実施期間 2026年4月1日～当分の間（予告なく終了する場合があります）
- (2) 実施内容 貝塚幼稚園（福岡市東区）園児による親しみやすい声での注意喚起を行い、お客さまが思わず耳を傾けたくなるアナウンスとすることで、歩きスマホ等の抑制を図ります。

以上